

スコアシート		重点評価項目: W 省エネルギー・省資源、G 緑化、S 雪処理							
配慮項目	重点評価項目			環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
	W	G	S		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
<b>Q 建築物の環境品質・性能</b>									
<b>Q-1 室内環境</b>									
<b>1 音環境</b>									
<b>1.1 騒音</b>									
1 暗騒音レベル									
2 機械騒音対策									
<b>1.2 遮音</b>									
1 開口部遮音性能									
2 界壁遮音性能									
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)									
4 界床遮音性能(重量衝撃源)									
<b>1.3 吸音</b>									
<b>2 温熱環境</b>									
<b>2.1 室温制御</b>									
1 室温設定									
2 機械制御・遠隔制御性									
3 外皮性能									
4 ゾーン別制御性									
5 断熱・遮熱対策									
6 機械制御									
7 時間変動に対応する配慮									
8 監視システム									
<b>2.2 湿度制御</b>									
<b>2.3 空調方式</b>									
<b>3 光・視環境</b>									
<b>3.1 昼光利用</b>									
1 昼光率									
2 方位別開口									
3 昼光利用設備									
<b>3.2 グレア対策</b>									
1 照明器具のグレア									
2 昼光制御									
<b>3.3 照度</b>									
1 照度									
2 照度均斉性									
<b>3.4 照明制御</b>									
<b>4 空気環境</b>									
<b>4.1 発生源対策</b>									
1 化学物質汚染									
2 放射能汚染									
3 カビ・カビ菌									
4 レジオネラ対策									
<b>4.2 換気</b>									
1 換気量									
2 自然換気性能									
3 取り入れ外気への配慮									
4 給気計画									
<b>4.3 運用管理</b>									
1 CO <sub>2</sub> の監視									
2 喫煙の制御									
<b>Q-2 サービス性能</b>									
<b>1 機能性</b>									
<b>1.1 機能性・使いやすさ</b>									
1 広さ・収納性									
2 高度情報通信設備対応									
3 バリアフリー計画									
<b>1.2 心理性・快適性</b>									
1 広さ感・景観									
2 リフレッシュスペース									
3 内装計画									
<b>2 耐用性・信頼性</b>									
<b>2.1 耐震・免震</b>									
1 耐震性									
2 免震・制振性能									
<b>2.2 部品・部材の耐用年数</b>									
1 外壁仕上げ材の補修必要間隔									
2 主要内装仕上げ材の更新必要間隔									
3 配管・配線材の更新必要間隔									
4 主要設備機器の更新必要間隔									
<b>2.3 適切な更新</b>									
1 屋上(屋根)・外壁仕上げ材の更新									
2 配管・配線材の更新									
3 運用設備機器の更新									
<b>2.4 信頼性</b>									
1 空調・換気設備									
2 給排水・衛生設備									
3 電気設備									
4 機械・配管支持方法									
5 通信・情報設備									

スコアシート		重点評価項目: W 省エネルギー・省資源、G 緑化、S 雪処理				建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	重点評価項目			環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数		
	W	G	S							
<b>3 対応性・更新性</b>					<b>4.7</b>	0.29	-	-	<b>4.7</b>	
<b>3.1 空間のゆとり</b>					<b>5.0</b>	0.31	-	-		
1 階高のゆとり				構造体と天井の高さからのゆとりある空間になっている。	5.0	0.60	3.0	-		
2 空間の形状・自由さ				庫内はパネルで仕切られ広い空間を構成している。	5.0	0.40	3.0	-		
<b>3.2 荷重のゆとり</b>				床耐荷重を1階:1500Kg/m <sup>2</sup> 2階:2000Kg/m <sup>2</sup> と大きい数値設定。	<b>5.0</b>	0.31	<b>3.0</b>	-		
<b>3.3 設備の更新性</b>					<b>4.2</b>	0.38	-	-		
1 空調配管の更新性				天井裏とシャフト内に集約し、いつでも対応できる。	4.0	0.17	-	-		
2 給排水管の更新性				上記と同じ。	4.0	0.17	-	-		
3 電気配線の更新性				上記と同じ。	5.0	0.11	-	-		
4 通信配線の更新性				上記と同じ。	5.0	0.11	-	-		
5 設備機器の更新性				後付け機器が多く、高い所は歩廊を設けてあり、いつでも対応でき	5.0	0.22	-	-		
6 バックアップスペースの確保					3.0	0.22	-	-		
<b>G-3 室外環境(敷地内)</b>					-	<b>0.40</b>	-	-	<b>3.0</b>	
1 生物環境の保全と創出		G			<b>2.0</b>	0.40	-	-	<b>2.0</b>	
2 まちなみ・景観への配慮		G		流通団地の中でのシンプル及び存在感を考慮。	<b>4.0</b>	0.20	-	-	<b>4.0</b>	
<b>3 地域性・アメニティへの配慮</b>					<b>3.5</b>	0.40	-	-	<b>3.5</b>	
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			S		<b>3.0</b>	0.50	-	-		
3.2 敷地内温熱環境の向上	W	G		敷地の一角に植栽スペースを設ける。	<b>4.0</b>	0.50	-	-		
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>					-	<b>0.40</b>	-	-	<b>3.4</b>	
<b>LR-1 エネルギー</b>					-	<b>0.40</b>	-	-	<b>4.0</b>	
1 建築物の熱負荷抑制	W				-	-	-	-	-	
<b>2 自然エネルギー利用</b>					<b>3.0</b>	0.29	-	-	<b>3.0</b>	
2.1 自然エネルギーの直接利用	W				<b>3.0</b>	0.50	-	-		
2.2 自然エネルギーの変換利用	W		S		<b>3.0</b>	0.50	-	-		
<b>3 設備システムの高効率化</b>	W			GHPIによる冷暖房、空調換気扇による吸排気	<b>5.0</b>	0.43	-	-	<b>5.0</b>	
<b>4 効率的運用</b>					<b>3.5</b>	0.29	-	-	<b>3.5</b>	
4.1 モニタリング	W				<b>3.0</b>	0.50	-	-		
4.2 運用管理体制	W			庫内、居室を含めて一カ所で制御運用している。	<b>4.0</b>	0.50	-	-		
<b>LR-2 資源・マテリアル</b>					-	<b>0.30</b>	-	-	<b>3.2</b>	
<b>1 水資源保護</b>					<b>3.0</b>	0.15	-	-	<b>3.0</b>	
1.1 節水	W				<b>3.0</b>	0.60	-	-		
1.2 雨水利用・雑排水再利用					<b>3.0</b>	0.40	-	-		
1 雨水利用システム導入の有無	W				3.0	0.67	-	-		
2 雑排水再利用システム導入の有無	W				3.0	0.33	-	-		
<b>2 低環境負荷材</b>					<b>3.2</b>	0.65	-	-	<b>3.2</b>	
2.1 資源の再利用効率					<b>2.3</b>	0.35	-	-		
1 躯体材料の再利用効率	W				3.0	0.67	-	-		
2 非構造材料の再利用効率	W				1.0	0.33	-	-		
2.2 持続可能な森林から産出された木材	W				<b>3.0</b>	0.04	-	-		
2.3 有害物質を含まない材料	W			全ての建築資材は有害物質を含まない。	<b>5.0</b>	0.08	-	-		
2.4 既存建築躯体などの再利用	W				<b>3.0</b>	0.18	-	-		
2.5 部材の再利用可能性	W			建築、設備共にメンテナンスを向上すれば可能性あり。	<b>5.0</b>	0.18	-	-		
2.6 フロン・ハロンの回避					<b>3.0</b>	0.18	-	-		
1 消火剤	W				3.0	0.33	-	-		
2 断熱材	W				3.0	0.33	-	-		
3 冷媒	W				3.0	0.33	-	-		
<b>LR-3 敷地外環境</b>					-	<b>0.30</b>	-	-	<b>3.0</b>	
1 大気汚染防止	W				<b>3.0</b>	0.15	-	-	<b>3.0</b>	
<b>2 騒音・振動・悪臭の防止</b>					<b>3.0</b>	0.10	-	-	<b>3.0</b>	
2.1 騒音					3.0	0.33	-	-		
2.2 振動					3.0	0.33	-	-		
2.3 悪臭					3.0	0.33	-	-		
<b>3 風害、日照阻害の抑制</b>					<b>3.0</b>	0.10	-	-	<b>3.0</b>	
3.1 風害の抑制					3.0	0.70	-	-		
3.2 日照阻害の抑制					3.0	0.30	-	-		
<b>4 光害の抑制</b>					<b>3.0</b>	0.05	-	-	<b>3.0</b>	
<b>5 温熱環境悪化の改善</b>	W	G	S		<b>3.0</b>	0.30	-	-	<b>3.0</b>	
<b>6 地域インフラへの負荷抑制</b>					<b>3.0</b>	0.30	-	-	<b>3.0</b>	
6.1 雨水処理負荷抑制	W				3.0	0.30	-	-		
6.2 汚水処理負荷抑制					3.0	0.10	-	-		
6.3 交通負荷抑制					3.0	0.30	-	-		
6.4 廃棄物処理負荷	W		S		3.0	0.30	-	-		
<b>■ LR-1 用途別得点表</b>										
				工場	-	-	-	-	面積按分	
				13,396 m <sup>2</sup>	-	-	-	-	総合スコア	
1 建築物の熱負荷抑制					-	-	-	-	-	
3 設備システムの高効率化				ERRIによる評価	-	-	-	-	5	
				個別設備による評価	5.0	-	-	-	-	
3.1 空調設備					-	-	-	-	-	
3.2 換気設備					-	-	-	-	-	
3.3 照明設備				8.0	-	-	-	-	-	
3.4 給湯設備					-	-	-	-	-	
3.5 昇降機設備					-	-	-	-	-	